

令和7年度生息状況調査結果 (ニホンジカ：県南部区域)

1. 目的

令和7年度に実施した指定管理鳥獣捕獲等事業（以下「指定管理事業」という。）の事業評価、及び令和8年度の指定管理事業実施計画を検討するための基礎情報とすることを目的として、ニホンジカ（以下「シカ」という。）の自動撮影カメラ調査（以下「カメラ調査」という。）を実施した。

2. 対象区域

カメラ調査地点の分布を図1に示す。



図1 カメラ調査地点の分布（県南部区域）

3. 調査期間

地区2（県南部区域）：令和7年1月～令和7年12月

4. 調査方法

カメラの設置にあたっては、獣道等のニホンジカが撮影されやすい場所を選定し、立木に獣道が撮影されるように画角を調整して設置した。

回収したデータは、①地点別・月別のニホンジカの撮影枚数、②ニホンジカの成獣メスの地点別・月別撮影枚数について集計するため、データは、ニホンジカの性別（オス・メス・不明）で整理し、さらに年齢（成獣・幼獣・不明）で分類した。なお、各個体の年齢（成獣・幼獣）の判断基準は、以下のとおり。

- ・成獣メス：体サイズの小さな個体とともに写っている大きな個体。または撮影時期が夏・秋・冬の場合、角がなく、かつ体サイズから明らかに成獣と判断できる個体。
- ・成獣オス：2 尖以上の角を持つ個体（1 尖の個体は成獣と確定できないため不明とした。）または尖数が不明だが角を持ち、かつ体サイズから明らかに成獣と判断できる個体。

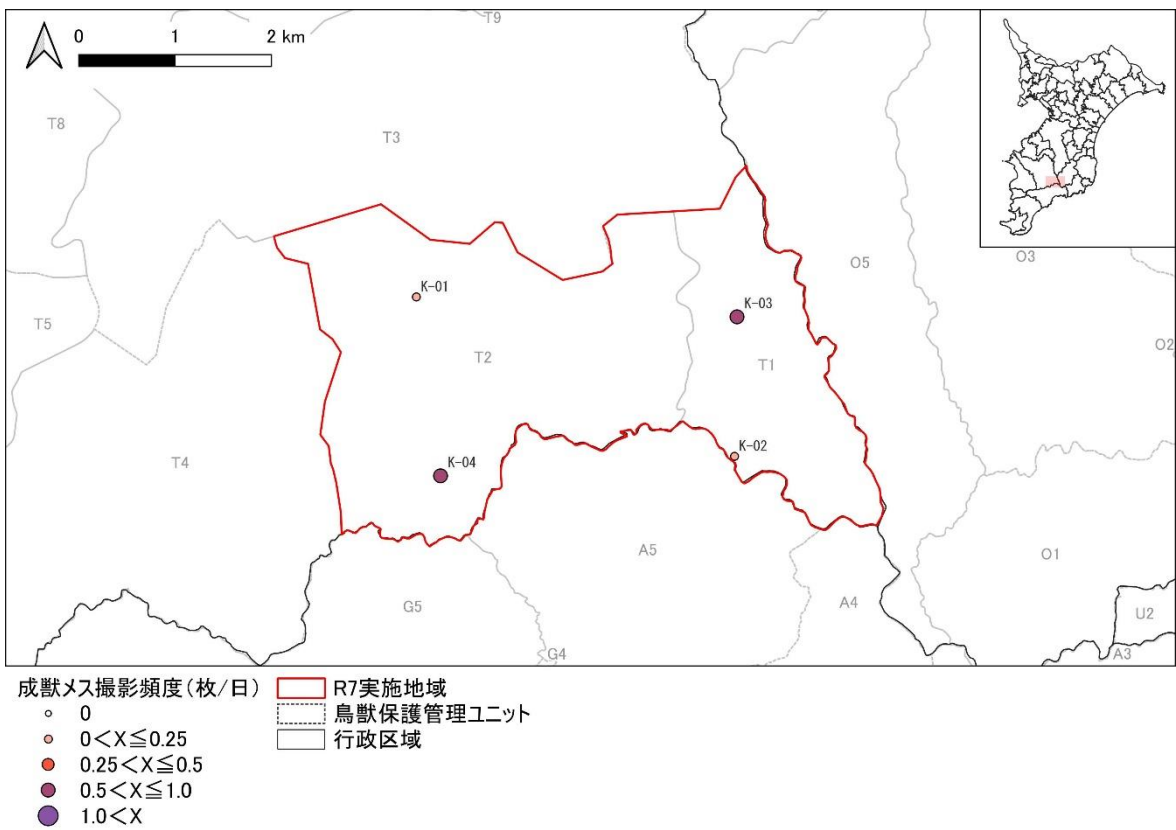
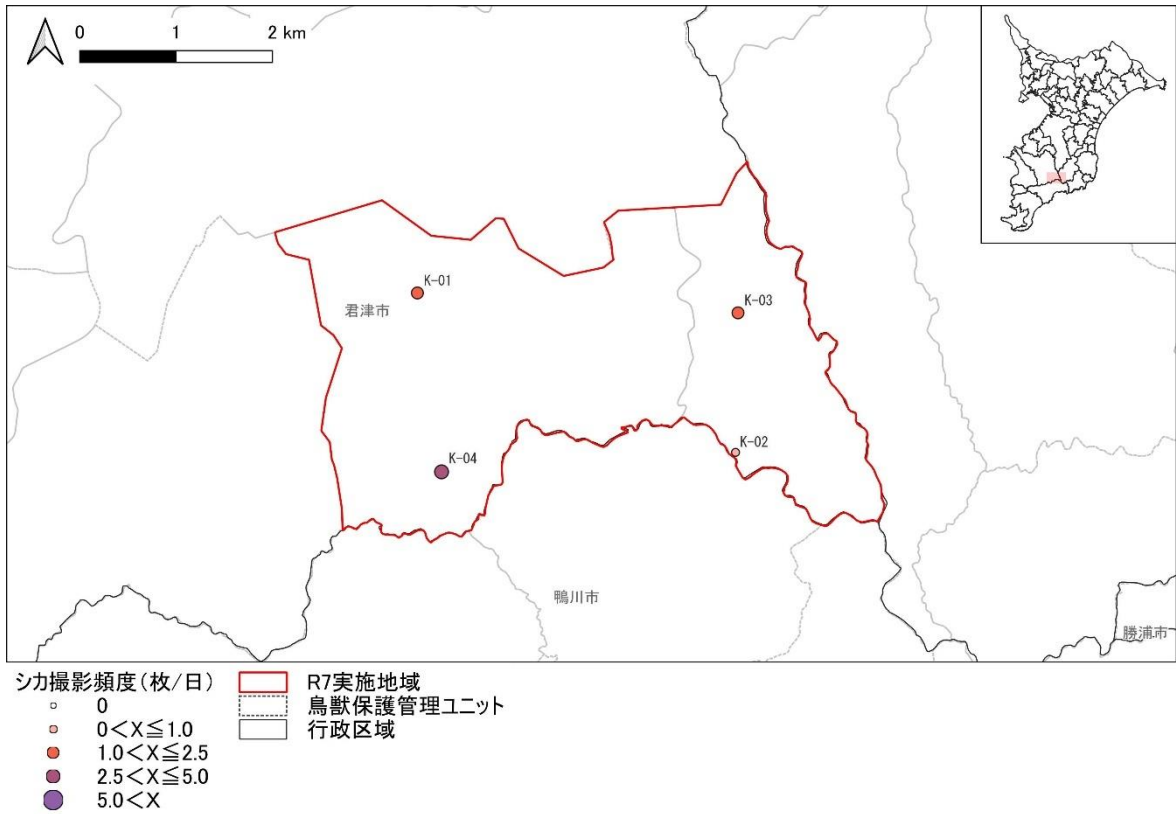
また、集計した撮影枚数とカメラ稼働日数から、各カメラ地点についての撮影頻度（1日あたりの撮影枚数）を算出した。そして、各カメラ地点の撮影頻度についてユニット毎の平均値を算出した。

5. 結果

（1）令和7年度調査結果

各カメラ地点におけるシカ全体の撮影頻度と成獣メスの撮影頻度を図2及び図3に、各ユニットの調査地点のシカ全体及び成獣メスの全期間の撮影頻度の平均を図4及び図5に示す。

- カメラ地点ごとのシカ全体の撮影頻度は、区域の南西部に位置するK-4が最も高かった。
- 成獣メスはカメラを設置した全4地点で撮影され、撮影頻度はK-4及びK-3で高かった。
- 各ユニットの平均撮影頻度はT1よりT2の方が高く、成獣メスについても同様の結果であった。



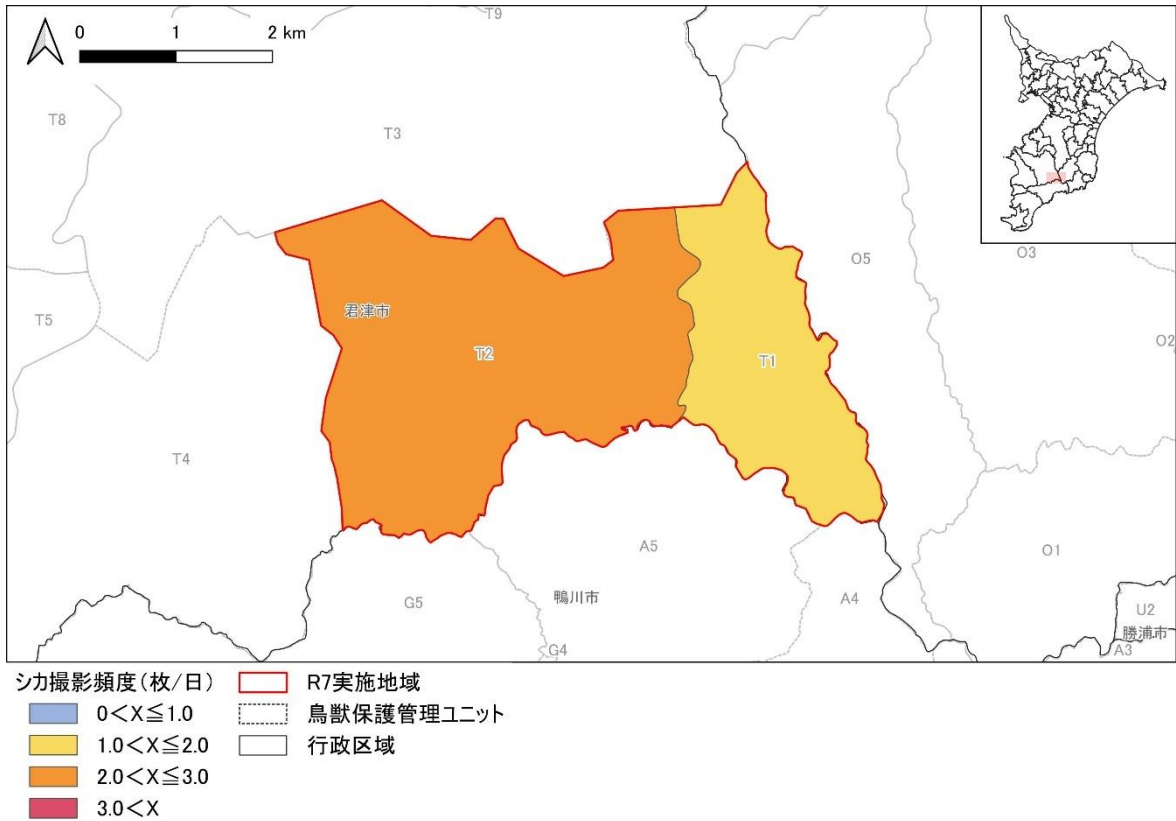


図 4 ユニットごとのシカ全体の平均撮影頻度(令和 7 年 1 月～令和 7 年 12 月)(県南部区域)

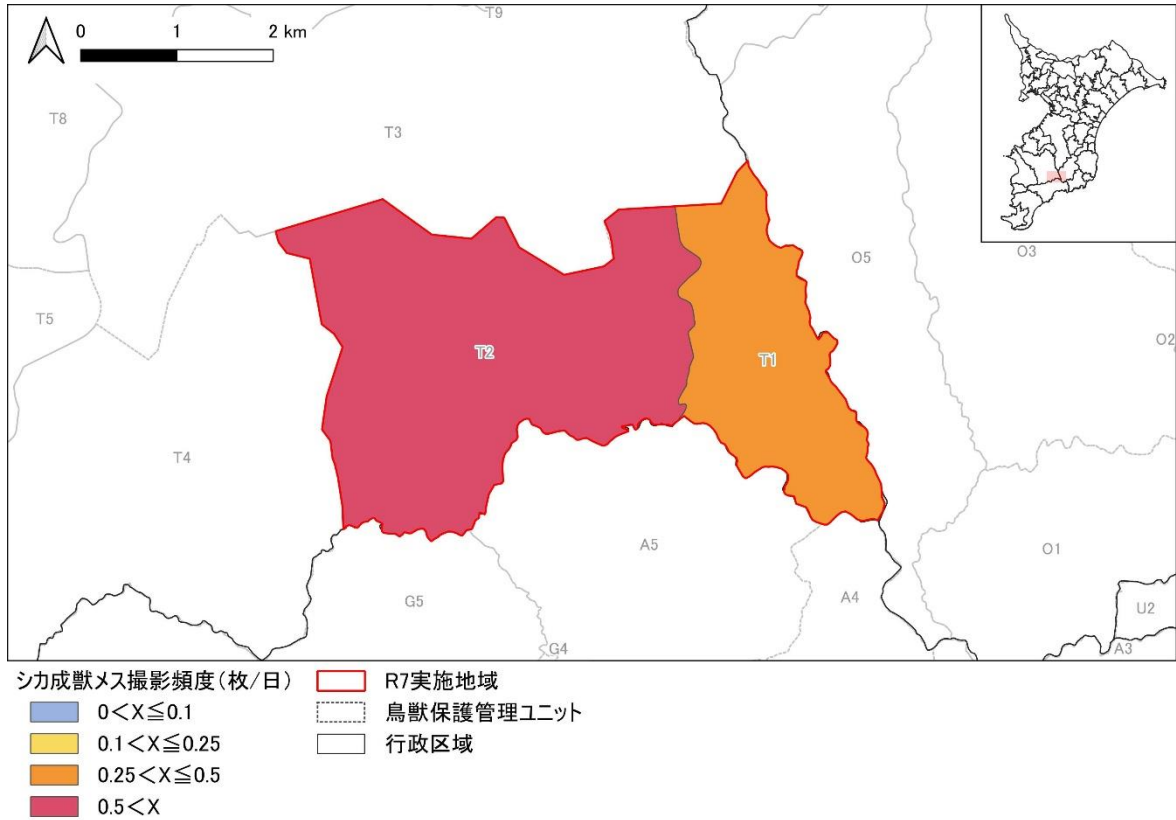


図 5 ユニットごとの成獣メスの平均撮影頻度(令和 7 年 1 月～令和 7 年 12 月)(県南部区域)

(2) 経年変化（撮影頻度）

令和4年以降の県南部区域におけるユニットごとのシカ全体の平均撮影頻度を表1に、成獣メスの平均撮影頻度を表2に示す。

- ▶ T1におけるシカ全体の平均撮影頻度は、年ごとに変動しているが令和7年は最も低い結果となった。
成獣メスの撮影頻度についても同様の傾向がみられた。
- ▶ T2におけるシカ全体の平均撮影頻度は、令和4年から令和6年にかけて減少傾向がみられていたが、令和7年度に増加した。一方で、成獣メスの撮影頻度は令和4年から令和7年にかけて減少傾向が続いている。

表1 令和4年～7年のユニットごとの平均撮影頻度（県南部区域）

市町村名	ユニット	撮影頻度（枚/日）			
		R4	R5	R6	R7
君津市	T1	5.86	2.89	3.73	1.51
	T2	2.31	1.55	1.16	2.14

撮影頻度低  撮影頻度高

※令和4年のデータは、8月～12月で集計

表2 令和4年～7年のユニットごとの成獣メスの撮影頻度（県南部区域）

市町村名	ユニット	撮影頻度（枚/日）			
		R4	R5	R6	R07
君津市	T1	2.46	1.73	2.37	0.45
	T2	1.24	0.86	0.58	0.53

撮影頻度低  撮影頻度高

※1 令和4年のデータは、8月～12月で集計

※2 性別・年齢級には、判定者によつて識別基準の差異が**あ**含まれる可能性がある

参考：推定個体数等の推移

表 3 推定個体数（令和2年度～令和6年度）

ユニット	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
T1	273 (214-338)	268 (204-337)	256 (187-328)	230 (154-313)	219 (135-310)
T2	545 (421-677)	538 (404-682)	536 (390-692)	549 (388-726)	550 (373-750)

※値は中央値、括弧内は95%信用区間を示す。

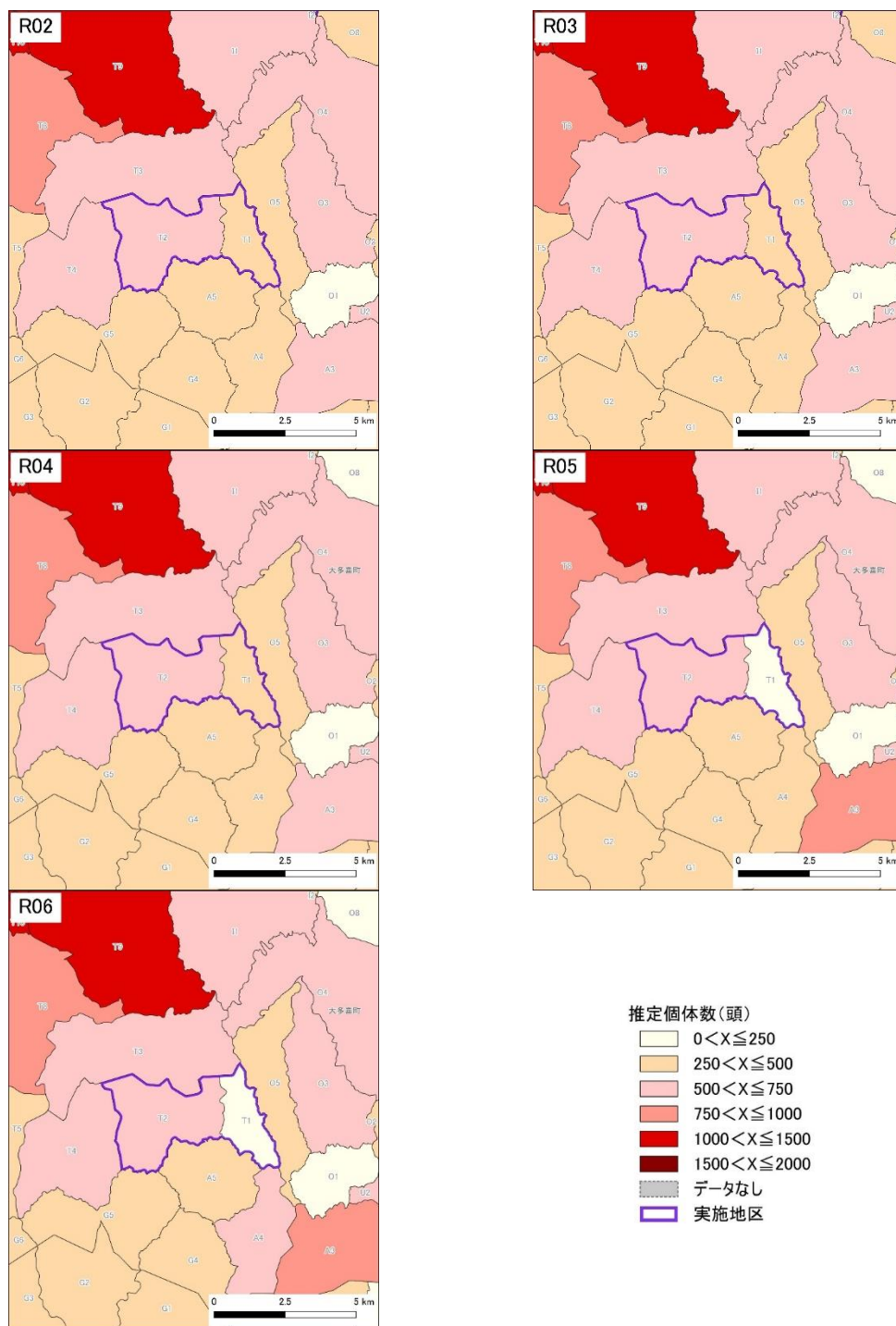
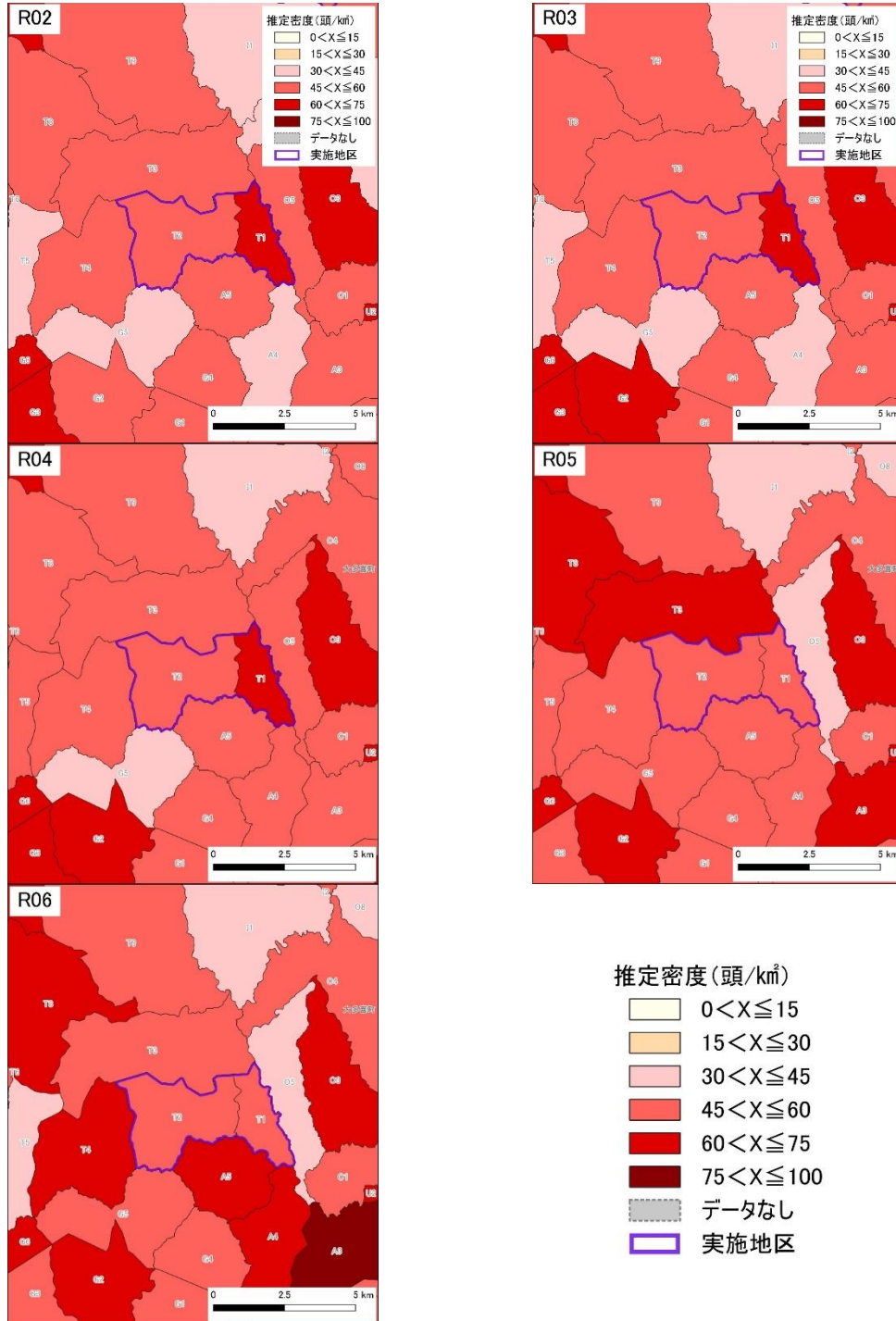


図 6 推定個体数の推移（令和2年度～令和6年度）

表 4 推定密度 (頭/km²) (令和 2 年度～令和 6 年度)

ユニット	森林面積 (km ²)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
T1	4.2	65.2	64.0	61.1	54.9	52.3
T2	9.6	57.0	56.3	56.1	57.4	57.5

※推定密度は、推定個体数(中央値)を各ユニットの森林面積で除して算出。



※推定密度は、推定個体数(中央値)を各ユニットの森林面積で除して算出。

図 7 推定密度の推移 (令 2 和年度～令和 6 年度)